

# カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

## カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

### 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう 「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの未来へ

#### ①表題



#### ②ねらい

- 現在、世界共通の問題として対応を迫られている温室効果ガス削減に対する取組について理解する。
- 東京都が発信する「HTT」について知り、自分たちが参加できるCO<sub>2</sub>削減についての考え、実践しようとする態度を育成する。

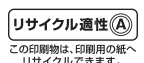
#### ③本教材で扱う 主な内容

カーボンハーフ、カーボンニュートラル、世界各国の温室効果ガス削減における数値目標、温室効果ガスの環境への影響、HTT、自分たちにできるCO<sub>2</sub>削減対策

#### ④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、「カーボンニュートラル」について知る。	○カーボンニュートラルが2050年の達成を目指す世界共通の目標だと説明する。	◆推進資料①
○推進資料②を見て、「CO <sub>2</sub> 実質ゼロ」についてまとめる。	○温室効果ガスの排出する場面を確認する。 ○吸収量は、木々の光合成などを示すことを確認する。 ○木材製品を利用することによる長期間の炭素の貯蔵なども吸収量に含まれることを説明する。	◆推進資料② ■ワークシート①
○推進資料③を見て、「カーボンハーフ」について知る。	○カーボンハーフが2030年までにCO <sub>2</sub> 排出を2000年比の半分に削減する東京都の取組であることと、2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロという目標に到達するための重要なステップであることを認識させる。	◆推進資料③
○推進資料④を見て、東京都の取組「HTT」について理解する。	○東京都の取組「HTT」について紹介する。	◆推進資料④ ■広報東京都 こども版5月号
○推進資料⑤を見て、「HTT」や「Tokyo Cool Home」について調べる。	○一人1台端末を活用して「HTT」や「Tokyo Cool Home」について調べさせる。	◆推進資料⑤ ◆ワークシート② ■Tokyo Cool Home & Biz
○推進資料⑥を見て、自分たちに今できること、将来できることを考えを発表する。	○将来できることについては、「HTT」を参考に考えさせる。	◆推進資料⑥ ◆ワークシート③ ■東京都環境局
		■東京都教育庁

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。  
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



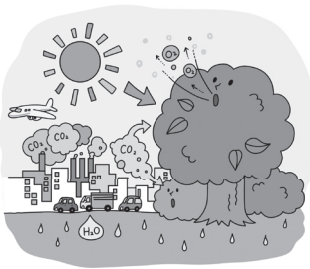
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう

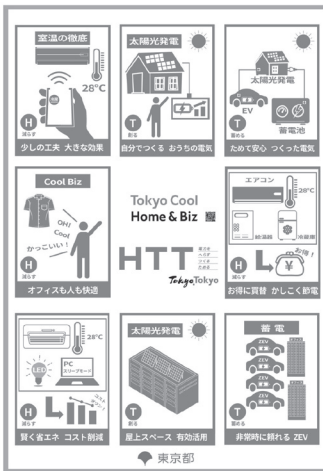
「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの未来へ

年 組 名前

① CO<sub>2</sub> 実質ゼロ（二酸化炭素の循環）について絵や図でまとめてみよう



② 東京都の取組「HTT」や「Tokyo Cool Home」について調べてみよう



③ 自分たちに今できること、将来できることを考えよう

